

進級基準

グローバルコミュニケーション学科

<2016 年度から 2020 年度入学生>

2 年次進級基準 (1 年次→2 年次)	3 年次進級基準 (2 年次→3 年次)	4 年次進級基準 (3 年次→4 年次)
①武蔵野 BASIS 進級基準科目を全て修得すること ②合計 30 単位以上を修得すること ③1 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ④単年度 GPA が 1.50 以上であること	①合計 60 単位以上を修得すること ②2 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ③単年度 GPA が 1.50 以上であること	①合計 90 単位以上を修得すること ②3 年次の必修科目のうち未修得科目が 2 科目以内であること ③総合 GPA が 2.00 以上であること

■武蔵野 BASIS 進級基準科目

- ・「データ・情報リテラシー」(1 単位) (2020 年度入学生)
- ・「コンピュータ基礎 1」(1 単位) (2019 年度以前入学生)
- ・「日本語リテラシー」(1 単位)
- ・「基礎セルフディベロップメント」(6 単位)

※グローバル学部では、学科の言語演習科目(英語・中国語・日本語)は武蔵野 BASIS 進級基準科目には該当しません(ただし、必修科目は「必修未修得 2 科目以内」の条件の対象となります。各学科における語学科目の必選区分は卒業所要単位表、開講表を確認してください)。

■学科進級基準科目(2018 年度以降入学生のみ)

グローバルコミュニケーション学科では、武蔵野 BASIS 進級基準科目に加え、全員留学プログラムの事前授業である「異文化コミュニケーション A」(2021 年度以降、「キャリアデザイン入門」として開講)も進級基準科目となります。同科目を未修得の場合、グローバルコミュニケーション学科 2 年次への進級が認められず、その結果、翌年度の全員留学プログラムに参加することができません。

■「必修未修得 2 科目以内」の定義

不合格・未履修のため修得できなかった必修科目が 2 科目以内であることが条件です。ただし、進級基準の判定対象となるのは在籍学年の必修科目に限ります。下位学年の必修科目が未修得であっても、ここでの判定対象には含まれません。

備考:外国語必修科目の扱い

<英語>

中国語圏など、英語圏以外に留学する場合、英語の 2・3 年次の必修科目のうち留学のため未修得のものは留学した年次における「必修未修得 2 科目以内」の条件の対象に含めません(該当者のみ)。

<中国語>

英語圏をはじめとする海外留学を推進するため、中国語を必修とする学生(日本語を母語とする学生)について、中国語の 2・3 年次の必修科目は「必修未修得 2 科目以内」の条件の対象に含めません。英語の必修科目の扱いと異なり、実際に留学プログラムを理由とした未修得かどうかは問いません。ただし、他の進級基準を満たさずに原級留年となった場合は成績リセットの対象となり、再履修する必要があります(S・A・認評価の科目を除きます)。

<日本語>

「日本語 2C-2D」は 3 年次に開講するため、2 年次における「必修未修得 2 科目以内」の条件の対象に含めません。

※2020 年度入学生は 2021 年度における全員留学の延期に伴い、必修の語学科目の開講学年を変更しているため、必修科目の扱いが異なります。詳細は『グローバルコミュニケーション学科 2020 年度入学生_進級基準「必修科目」の内訳』をご確認ください。

[グローバルコミュニケーション学科 2020 年度入学生_進級基準「必修科目」の内訳](#)

■原級留年(卒業留年は除く)の取扱い

各学年の進級基準を満たさず原級留年となった場合は、合格科目を含めて当該年次における以下の対象科目の成績がリセットされ、再履修する必要があります(ただし、S・A・認評価の科目を除きます)。

<成績リセットの対象科目>

- ①武蔵野 BASIS 進級基準科目
- ②武蔵野 BASIS 必修科目
- ③学科必修科目